

藤 沢 市 剣 道 連 盟 会 報

藤 剣 風

Tou Ken Puu

第 7 号

藤 沢 市 剣 道 連 盟

「藤剣風」雑感

藤沢市剣道連盟会長 幸 野 實

月例稽古会では、「今日の稽古で何か気付いたところを」と求められることがしばしばあり、いつも同じようなことを言っているような気がしてならない。

自ら稽古の内容について反省し、どういう間合いで、どういう機会に打たれたのか、よい技が決まったときは、どういう機会と間合いであったかなどをよく反省して次の稽古にそれを役立てることが大切だ。殆どの人がその場かぎりの稽古で終わっているのではないでしょう。

十分な気合いで蹲踞から立ち上がり、相手と竹刀を交えたときには自分が先になっていないかなければなりません。



竹刀の触れあうところで形だけの蹲踞から立ち上がり、近い間合いで捏ね合ったりしている人がみられますが、そこはお互いに引くに引けないギリギリの間合ですから、遠間から立ち上がり、打ち氣に逸らず氣力を充実させて、剣先が触れ合ったときには先になつていなければなりません。

昔から「初太刀をとれ」と云われるのは、常にこの心が抜けないように努めよ、との教えです。

触刃からギリギリと攻めて相手の起りを制して先をとるような稽古を心がけたいものです。

「剣道理念」が制定され、修練の心構えが示されて今年で40年になります。(昭和50年制定)

大会の度にプログラムにも掲載し、剣道の根本となる精神であることは理解されているはずであります。日頃の稽古を見る限りでは残念ながら、剣の理法の修練には程遠いと言わざるをえません。有効打突となる条件を全く満たしていない打突、というよりは打

突そのものが打つ動作になっていないのです。

充実した氣勢、適正な姿勢から竹刀の打突部で打突部位を刃筋正しく打突しているだろうか、まるで当て逃げの状態で自分勝手に引き揚げている人に残心など分かるはずがありません。

打突の瞬間に自分の技が決まったか否か正しく判断できなければ、剣の理法の修練には至らないでしょう。

会報5号中「一刀流極意」(笹森順造著)の礼についての件をここでも参考までに記しますが、稽古では相手の人格を尊重し、わが打突を正當に認めさせ、相手の打突も素直に認めるのが礼である。相手が「参りました」と言ったら、「不十分でした」と答えるのが礼である。己の打突が当たらないのに当たったように呼号し引き揚げるのは剣道の礼に反すると教えています。私たちが若いころの稽古ではこのような礼の氣風がまだ残っていたように記憶しています。

藤沢市剣連の「藤剣風」は剣の理法に基づく剣道を自ら修練するとともに、次の時代をになう青少年にも正しくこれを伝えようではありませんか。(平成27年1月)

第21回藤沢市剣道錬成大会

藤沢北ロータリークラブ

優勝旗争奪戦

優勝旗争奪戦

平成26年11月30日(日)
市立秋葉台文化体育館



幸野会長は、「相撲の九州場所では横綱白鵬が大鵬に並ぶ32度優勝の偉業を成し遂げました。本人は今の自分にとって、土俵の中の稽古より土俵の外

の稽古が大事であり、運は努力した人間にしか来ない。一番のライバルは自分自身だと言っています。たくさんさんの努力があったからこそ頂点に立てたのだと思います。選手の方皆さんも日頃の努力の成果を遺憾なく発揮して、元氣溢れる試合を行って下さい。」と挨拶をされました。互心会の星野啓太選手の方強い選手宣誓後、白熱した試合が展開されました。各部門別の成績は以下のとおりです。

平成26年度 第21回 藤沢市剣道錬成大会の記録

藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪 団体戦 (少年少女の部)

順位	団体名	先鋒 小4以下	次鋒 小5以下	中堅 小6以下	副将 中学生以下	大将 中学生以下
優勝	遠 藤 青 少 年 剣 道 部 A	三家本 伊 純	板 倉 道 信	藤 井 雅 人	高 橋 汰 雅	穂 坂 拓 海
準優勝	互 心 会 剣 道 ク ラ ブ A	加 藤 悠 悠	古 澤 宏 晟	星 野 敬 太	井 上 あすか	我 毛 大 輔
3位	片 瀬 剣 友 会 A	小 澤 白 玖	福 住 幸 平	松 岡 遼	山 口 陽 高	倉 持 汐 里
3位	求 道 館 A	佐 治 大 樹	藤 田 龍 心	堀 夕 介	五十嵐 流夏之	西 田 拓 海

学年別個人戦

個人戦の部(参加数)	優 勝	準優勝	3 位	敢 闘 賞
小学1年生(6)	田 嶋 十 生(求)	藤 井 彬 人(遠)		
小学2年生(14)	山 田 萌 衣(片)	小 林 緩 菜(御)	椎 野 耀 太(互) 佐久間 海(信)	
小学3年生(23)	佐 治 大 樹(求)	小 林 那 槻(御)	田 中 亮 真(片) 土 屋 快 翔(片)	洪 谷 玲 奈(川) 宇都宮 颯 優(片) 矢 口 康 太(片) 中 野 孔 賀(片)
小学4年生(33)	吉 田 朔 也(求)	牧 野 俊 大(警)	赤 木 壮 太(警) 小 澤 白 玖(片)	大 村 咲 季(警) 曾 我 泰 智(求) 四十井 陽 介(川) 山 田 昂 太(長)
小学5年生(43)	清 水 花 純(遠)	福 住 幸 平(片)	山 室 翔 大(片) 板 倉 道 信(遠)	藤 原 直 輝(片) 矢 口 健 太(片) 山 田 修 士(川) 阿 部 彪 人(片)
小学6年生(38)	藤 井 雅 人(遠)	鈴 木 啓 太(遠)	星 野 敬 太(互) 角 ころ(滝)	花 方 涼 香(遠) 山 田 野 伊 織(警) 石 田 七 海(求)
中学1年生(30)	高 橋 優 毅(心)	酒 井 伶 奈(心)	能 勢 晴 聖(滝) 泉 颯 飛(信)	大 平 慎 之助(警) 久 谷 友 理(求) 福 井 雄 大(北) 高 城 龍 綺(秋)
中学2年生(40)	松 本 洸(信)	谷 口 柊 斗(御)	磯 貝 夏 斗(遠) 須 山 優(求)	守 良 樹(警) 工 藤 行 晴(求) 羽 山 裕 太(遠) 西 田 拓 海(求)
中学3年生(11)	廣 吉 辰 朗(心)	松 本 翔(信)		

団体戦 (男子・女子一般の部)

団体戦の部(参加団体数)	順位	支 部 名	先 鋒	中 堅	大 将
一 般 女 子 (4)	優勝	心 剣 会	廣 吉 春 香	竹 田 桜 子	高 橋 佳 奈
一 般 男 子 (42)	優勝	心 剣 会	廣 吉 政 治	廣 吉 将 吾	山 口 卓 也
	準優勝	三 菱 電 機 B	兼 松 宏 宇	小 島 直 幸	福 吉 清 岳
	3位	剣 修 館 川 崎 道 場 C	齋 藤 恵 介	松 岡 祥 平	松 岡 亨
	3位	信 明 館 高 科 道 場 A	我 妻 駿 介	梅 木 透	高 科 建太郎

毎年、練成大会で演武の機会を頂ける藤沢の居合道部は大変恵まれている。剣道に比べ普及人口も少なく、刀を使用しての修練を、多くの人に見て頂ける場はそう多くはないからである。

剣道との大きな違いは、模擬刀であれ真剣であれ実際に刀を使用し、戦う相手は仮想敵という「形」から成り立つ点であろう。日本の武家社会の中で脈々と伝統を守ってきた日本刀は、現代人の心にも深く染み込んでいる筈である。言語表現にも、



「真剣に」、「鎬こを削る」、「切羽詰まる」、「火花を散らす」、「つけ焼刃」、「元の鞘に納まる」、「鞘さや当て」等々刀の部位から生じたものが多いことから分かる。

いたものである。

昭和44年から二度の改正で制定された全日本剣道連盟居合は、数多い古流から抜粋し、剣道家が修得すべき居合として12本から成り立ち、居合を学ぶ者の必修の技となった。

「居て合わす」心

居合道教士七段 竹内 迪子

仮想敵との時間的空間的な「間」と「間合」で、相

林崎甚助重信が修業を重ね、一つの形として成立させた居合道は、各地で分派して多くの流派を生んだ。私達の学ぶ「夢想神伝流」も中山博道先生により、関東に根づ

手に合わせる心を持ち、刀を抜くか抜かぬかを判断しようとする居合の心技は、現代の人達にとって最も大切なものかもしれない。



二度打ち

昔から弓矢をとる者、つまり武士は、二つの矢を用意してはならぬといわれている。二つの矢を用意することは、一本の矢に自信がないところからくるものであり、武士の恥であると言われていた。

こうした考え方は、剣道でも共通するのであって、二度打ちについてはきつく戒められている。打突にあたっては、心気を充実させ、一度で打ちきくことが大切である。

では、「残心」ということと矛盾するのではないかと、思われるかもしれないが少しも矛盾はしない。残心とは、打つ時は少しも心を残さず、『あの時はこう打つんだった』といった後悔のない十分な打突をし、且つ相手の反撃に応じ得る心の備えをいつているのである。あやふやな打ち、自信のなさから、さらに第二の打突をする「二度打ち」のいましめとは矛盾しないのである。

(康)

第69回藤沢市民総合体育大会

— 26年度 藤沢市民剣道大会 —



秋涼の候を感じる夏休み最後の日曜日、参加選手631名により、熱戦が各会場で部門別に展開されました。

五、六、七段の部で、2度目の優勝をいたしました、高科建太郎選手は「決勝は一本勝負のつもりで臨みました。相手の気魄に負け



ないように、攻めて打ちを出すように心がけました。よい結果がでてうれいす。」と喜びを語っておりました。今後のご活躍を望みます。

各部の入賞は、成績表の通りです。

平成26年8月31日(日)
市立秋葉台文化体育館

平成26年度 藤沢市民剣道大会の記録

参加数	優 勝	準優勝	3 位	3 位
女 小 1 ・ 2	6 山 田 萌 衣 (片)	小 林 緩 菜 (御)		
女 小 3 ・ 4	6 大 村 咲 季 (警)	早 川 こ ころ (求)		
女 小 5	7 清 水 花 純 (遠)	穂 坂 南 海 (遠)		
女 小 6	10 花 方 涼 香 (遠)	石 田 七 海 (求)	羽 山 莉 乃 (遠)	天 野 茅 波 (遠)
女 中 1	47 井 上 あすか (湘洋)	増 田 晴 日 (尚武)	為 久 滯 (藤岡)	菊 池 奈 津 実 (遠)
女 中 2	31 田 中 美 咲 (六)	佐 藤 遥 奈 (湘洋)	田 中 優 香 (六)	米 本 亜 衣 (村)
女 中 3	12 紐 本 まどか (六)	沖 津 舞 (湘学)	高 橋 美 優 (心)	小 山 奈 那 (湘洋)
女 高 1	13 角 田 優 奈 (湘工)	吉 田 理 咲 子 (湘工)	山 本 佳 代 (湘工)	山 下 桃 加 (西)
女 高 2 ・ 3	10 松 岡 真 菜 美 (川)	齋 藤 芽 維 (西)	芳 賀 咲 菜 (日大)	米 盛 奈 々 (湘工)
女 一 般	14 山 下 裕 紀 子 (川)	松 井 優 希 (日大)	野 口 枝 里 (遠)	小 野 寺 久 美 子 (市)
男 小 1 ・ 2	14 藤 井 彬 人 (遠)	椎 野 耀 太 (互)	田 島 十 生 (求)	山 本 政 昊 (警)
男 小 3	21 保 智 奏 志 (警)	小 林 那 楓 (御)	中 野 孔 賀 (警)	佐 治 大 樹 (求)
男 小 4	24 増 田 龍 斗 (尚武)	小 澤 白 玖 (片)	赤 木 莊 太 (警)	佐 藤 優 羽 (求)
男 小 5	37 福 住 幸 平 (片)	藤 田 龍 心 (求)	山 室 翔 太 (片)	涌 井 捷 亘 (湘学)
男 小 6	32 藤 井 雅 人 (遠)	鈴 木 啓 太 (遠)	藤 田 柊 (高陵)	山 口 陽 高 (片)
男 中 1	56 高 橋 優 毅 (心)	成 田 大 介 (高浜)	松 田 翔 太 郎 (湘洋)	石 川 裕 崇 (湘学)
男 中 2	64 五十嵐 流 夏 之 (湘洋)	小 瀧 風 (遠)	寺 久 保 駒 乃 介 (一中)	廣 江 風 馬 (六)
男 中 3	26 廣 吉 辰 朗 (心)	安 藤 源 太 (片)	藤 間 瑛 雄 (遠)	穂 坂 拓 海 (遠)
男 高 1	52 増 田 貴 志 (湘工)	三 木 溪 太 朗 (湘工)	柳 川 和 海 (湘工)	我 孫 子 巧 (湘工)
男 高 2 ・ 3	33 田 中 誠 (湘工)	朝 田 恵 介 (湘工)	仁 多 見 大 樹 (湘工)	菊 永 侃 (遠)
男 一 般 初 段	8 三 木 貴 大 (求)	池 田 薫 (啓)		
男 一 般 2 ・ 3 段	43 坂 井 洋 介 (市)	西 出 恭 平 (三愛)	前 田 修 二 (市)	重 田 大 策 (遠)
男 一 般 4 段	32 廣 吉 政 治 (心)	松 岡 祥 平 (川)	山 上 泰 輝 (片)	岩 田 佑 介 (片)
男 一 般 5 ・ 6 ・ 7 段	33 高 科 建 太 郎 (信)	松 岡 亨 (川)	山 本 広 志 (長)	高 梨 康 司 (求)

祝
昇
段

26年度前期 合格者

教士 高科建治 (信明館) 朝長忠雄 (片瀬)

七段 櫻井利蔵 (遠藤)

六段 大平栄一郎 (藤警)

四段 廣吉政治 (心剣会) 松岡祥平 (川崎道場)

増田 伸 (三菱電機) 奥田 (豊) (修武会)

三橋純司 (川崎道場) 林 雅裕 (川崎道場)

吉原孝夫 (修武会) 藤木美穂 (湘工OG)

三段 齋門徹平 (湘工大) 山内快恭 (遠藤)

島 稜雅 (遠藤) 吉原 楽 (藤ヶ岡)

松岡真菜美 (川崎道場) 齋藤芽維 (藤沢西)

藤田佑花子 (湘南高) 鈴野 翠 (湘南学園)

荒井加菜 (藤沢西) 長澤苗子 (藤沢西)

二段 野口瑠音 (湘南学園) 廣吉辰朗 (心剣会)

安藤源太 (片瀬) 藤岡勇大 (村岡中)

松本 翔 (信明館) 清水 禄 (長後)

佐藤大志 (湘南学園) 岩井海人 (湘南学園)

熊倉翔太 (藤ヶ岡) 佐藤颯太 (六中)

横山直樹 (慶応) 木岡宏人 (村岡中)

荻原敏治 (六中) 秋本鈴之助 (川崎道場)

加藤雄太 (湘南学園) 松本 高 (藤ヶ岡)

岩本尚斗 (村岡中) 妹尾一卯 (藤ヶ岡)

初段

杉田諒太 (秋葉台中) 福永裕吾 (慶応)

臼井友哉 (鶴沼中) 五十嵐基樹 (鶴沼中)

中川寛隆 (遠藤) 平山 洸 (藤嶺)

齋藤玲央宗 (片瀬) 市川 慧 (藤嶺)

市川将太 (藤嶺) 安部祐生 (藤嶺)

若林海人 (藤嶺) 加藤雅之 (藤嶺)

山道翔太 (藤嶺) 槻谷岳大 (松下政)

岡崎広樹 (松下政) 林 俊輔 (松下政)

板倉信元 (遠藤) 秦野晃司 (遠藤)

大井一広 (片瀬) 倉持汐里 (片瀬)

倉内桃花 (六中) 梅津あすか (六中)

田中菜穂 (湘洋中) 高橋美優 (心剣会)

溝口愛果 (六中) 紐本まどか (六中)

関根佐和子 (鶴中) 小笠原 涼 (湘南学園)

久津輪 風 (鶴沼中) 林 夏帆 (六中)

金津絵理 (六中) 高橋瑠々子 (六中)

磯川弥佑 (六中) 土屋実穂 (聖園)

喜多京香 (聖園) 大河内 緑 (川崎道場)

泉水沙樹 (六中) 浅井和信 (湘南学園)

小野俊太郎 (鶴沼中) 土岐航世 (滝中)

猿渡功基 (六中) 大和田 優 (六中)

山口陽大 (片瀬) 五十嵐流夏之 (湘洋中)

堀田大賀 (片瀬) 高山尚之 (明中)

菅野公貴 (遠藤) 相澤智也 (秋葉台中)

羽山裕太 (遠藤) 宇佐美大輔 (川崎道場)

藤田滉己 (明中) 田尻健人 (六中)

井口颯人 (藤ヶ岡) 小玉 祐 (一中)

磯貝夏斗 (滝中) 土屋航太 (鶴中)

西村宗太 (六中) 濱田康佑 (六中)

秋山瑞雲 (湘南学園) 岩田晃也 (鶴中)

ペレス 健 (明中) 北村達紀 (滝中)

石渡千聖 (藤ヶ岡) 高浪 凜 (六中)

海老原悠希 (滝中) 小黑竣介 (滝中)

高橋汰雅 (滝中) 川野祐喜 (村岡中)

恩田悠佑 (片瀬) 香川徹司 (明中)

坂田烈矢 (明中) 山口 守 (明中)

白川峻匡 (日本橋中) 堀江 輝 (村岡中)

福田幸紘 (湘南学園) 松岡 匠 (日本橋高)

佐野裕太 (松下政) 齋藤勇士 (松下政)

恵飛須圭二 (松下政) 日下部晃志 (松下政)

苦米地康久 (片瀬) 横濱さくら (滝中)

佐藤もなみ (鶴中) 田中優香 (六中)

渡邊真己 (聖園) 田中 滯 (鶴中)

住吉ちか (一中) 佐藤遥奈 (相洋中)

油井琴子 (一中) 田中美咲 (六中)

田部うらら (六中) 米本亜衣 (村岡中)

大岩真緒 (湘南学園) 佐藤久留美 (日本橋中)

彌寝美幸 (六中) 喜佐見菜々子 (日本橋中)

最上綺音 (滝中) 藤田菜々子 (聖園)

櫻井茉優 (六中) 金村葉菜 (明中)

萩原正子 (明中) 熊谷亜優香 (長後)

前崎千晶 (村岡中) 長谷川友香 (村岡中)

鬼頭祐佳 (村岡中) 丸田菜央 (日本橋高)

芳賀咲菜 (日本橋高) 松岡世令那 (慶応高)

村本佳奈 (日本橋高) 松本 彩 (松下政)

矢口菊子 (片瀬)

26年度後期 合格者

教士 山口治行 (長後) 植田 実 (藤青)

宮治信介 (遠藤)

七段 萩本健吾 (互心会)

六段 栗原 浩 (修武会) 福富啓光 (片瀬)

五段 田尾逸人 (片瀬) 山田貴光 (川崎道場)

四段 山本佳明 (藤青)

三段 山添翔太郎 (藤警) 井上 昇 (互心会)

大平晃央 (藤警) 瀧 柚太郎 (片瀬)

我妻駿介 (信明館) 鳥谷部修平 (湘工大)

中田峻介 (片瀬) 泉水史樹 (川崎道場)

菊地元太 (遠藤) 廣江祐馬 (鎌倉高)

森 丈二 (湘工大) 上野 陸 (鎌倉高)

平野雅也 (日大) 秋元一通 (片瀬)

比良 剛 (一校) 鈴木昌治 (修武会)

祝 平成26年度
全日本剣道連盟少年剣道
教育奨励賞受賞

藤沢警察署少年剣道推進会が、平成26年度の榮譽ある賞を受賞されました。おめでとうございます。

剣士を代表して久野伊織さんに「剣道から学んだこと」を綴って頂きました。

久野 伊織

私が剣道に興味を持ったのは、2年生の時だ。ある日の下校時に、「少年剣道を一緒にやりませんか。」と言われ、一枚の部員募集のチラシをもらった。

「これだ!!」

と思った私は、急いで家に帰り、すぐに母にチラシを見せ、少年剣道に入学したいという気持ちを伝えた。私は過去に、水泳を習い始めてからたったの2週間でやめてしまった事があったので家族に剣道を続けられるか、とても心配された。でも、私の気持ちは変わることとはなく、今までの4年間ずっと剣道を続けてきた。まだ剣道の事を何も知らない自分を先生たち

が、試合に出場出来るまでに育てて下さり、4年生の時には、藤沢市の大会で優勝する事もできた。そこからずっと経験を積み、最後の1年になった。最後の1年は、

キャプテンを務めさせてもらった。そして、最後の試合をむかえた。おしくも優勝にはおよばなかったが、敢闘賞を取る事が出来た。

ここまで成長させてくれた先生方と、今までずっと、けい古をしてくれた仲間にとっても感謝している。そんな中で、自分が所属しているチームが奨励賞を取れてとても嬉しく思っている。

剣道を通じて、負けない気持ちと、あきらめない気持ちを教えてもらい、日々の生活でもとても役にたっているの、この気持ちを忘れずに、これからもずっと剣道を続けていこうと思う。

居合合格者

26年度

三段 高科建太郎

新田正佳

二段 井出 猛

一級 福田輝夫

冠 秀一

雨田玲香

(前頁より)

清野莉嵯 (湘南高)

宮出貴美子 (藤 青)

二段 金子朝晴 (藤北警)

星野大志 (互心会)

小田右近 (藤 警)

金森一輔 (慶応中)

杉本 瑛 (湘南学園)

深谷 礁 (遠 藤)

暁 康士朗 (藤西高)

金森一輔 (慶 応)

仙石恭敏 (啓心館)

福島太郎 (啓心館)

宇田川智則 (一 般)

鳥 彩都沙 (遠 藤)

重松菜月 (湘南学園)

沼井爽也香 (村岡中)

皆川舞子 (藤 警)

水戸沢子 (川崎道場)

初段 原岡蒼一郎 (藤 警)

大平慎之助 (鶴沼中)

根本 梢 (村岡中)

小 篤 風 (遠 藤)

塚本 匠 (村岡中)

新見季咲良 (鎌倉高)

入 佐 宙 (鶴沼中)

廣江風馬 (川崎道場)

君嶋竜弥 (村岡中)

一戸麟太郎 (藤北警)

土岐海人 (遠 藤)

福田弘平 (藤嶺高)

三木裕貴 (村岡中)

金光 新 (藤 青)

阿部裕将 (遠 藤)

松元啓介 (互心会)

内田菜帆 (鶴沼中)

石井華鈴 (村岡中)

佐久間 華 (鶴沼中)

福富夏織 (片 瀬)

鈴木 恵 (遠 藤)

高橋直史 (湘南学園)

田畑富美 (川崎道場)

洪谷隼汰 (慶応中)

末好伊織 (信明館)

泷 信明館

寺久保駒乃介 (一 中)

宮田慎吾 (明治中)

阿部日向 (一 中)

宮田和季 (御所見)

三贅琢矢 (二 中)

矢崎裕一朗 (一 中)

沖山 輝 (村岡中)

和 田 透 (藤嶺中)

齊藤淳也 (湘南学園)

陶山拓海 (村岡中)

大沼智寛 (遠 藤)

熊野圭吾 (湘南高)

林 和成 (川崎道場)

飯島健介 (藤嶺高)

大 淵 脩 (藤嶺高)

村田真吾 (藤嶺高)

稲本俊太 (藤嶺高)

山 本 将 (松野高)

岡田吉弘 (松野高)

木村誠一郎 (松野高)

濱崎 隆 (片 瀬)

千田彩乃 (互心会)

菊地奈津実 (遠 藤)

三木理花 (聖園中)

長崎友紀 (村岡中)

関原未優 (湘南学園)

西村奈玲 (聖園中)

能勢結衣花 (滝の沢中)

長谷部千佳 (湘南高)

峯村遥香 (湘南高)

長沼由佳 (湘南高)

大竹初奈 (慶応高)

お詫び

前号6号で昇段者名簿に間違いがありました。紙面にて報告し、深くお詫び申し上げます。

三段 平田昌信 (啓心館)

島田喜信 (片 瀬)

小栗航紀 (藤 嶺)

比留川祥則 (啓心館)

随 想



種まき人

藤沢市剣道連盟 副会長 黒 木 善 健

大河ドラマ「花燃ゆ」が始まった。幕末の偉人吉田松陰の妹、文さんを中心に長州藩の若者達の生きざまが活いきと描かれている。松陰先生は明治維新に活躍した多くの人物を育てた。「至誠」まごころをもって弟子達と向きあったと伝えられている。

私は昭和27年、漸く剣道が解禁されて、全日本剣道連盟が設立された年に初めて竹刀を握った。今から63年前のことである。この頃の先生方は伝統文化である剣道が敗戦によって約7年間も禁止され稽古が許されなかった反動から、なんとかして復活させたいという思いが非常に強かったのだと思う。剣道を志す子供達を真心をこめて愛し熱心に指導をして下さった。その姿が私の心に数々の種を播いてくれた。修業時代に私は7人の「種まき人」に出会った。この先



昭和38年5月4日、京都大会出場(左・黒木先生)

生方が私にとって忘れることが出来ない恩人として心に刻まれている。人生の宝物だと思う。至誠を尽して剣道を伝えること、これは現在でも同じことである。とくに純真な子供達はその教えを心に刻み、先生の人格を胸に焼き付けて成長する。「種まき人」である私達は常に自己をみつめて至誠を実践しなければならぬと思っている。松陰先生は「知行合一」、

知っていることと行いとは一つになっていなければならないとも説いた。さて私はどうであろうか？

支部だより
(第7回)

「一生懸命」

信明館高科剣道場 館長 高 科 建 治

藤沢市剣道連盟の先生方には日頃お世話になり有り難うございます。

我が道場は時宗総本山遊行寺から1分ほどの大船街道入口より6軒目の左側に有ります。信明館高科剣道場創立式典は昭和58年1月15日に行いました。本年度32年目を迎えます。

この道場の目的は子供達一人一人に愛情をもって誠心誠意指導することにより剣道を通して健康な体を作り、礼儀、挨拶、相手への思いやりの心を育て、将来日本国のために活躍をしてくれる人材を養成するために作りました。道場玄関に「一生懸命」と書いてある木彫りの額が飾ってあります。道場が発展するには何事にも「一生懸命」行う、道場に来る子供達は剣道と勉強を「一生懸命」にすることを望んで掲げたものです。

また、元藤沢市剣道連盟会長の故久木田善藏先生は創立から20年間子供達の指導の中で「挨拶」の練習を毎回されていきました。道場への入場・退場の時、神前への礼をすることも言われていました。平成23年3月14日にご逝去なされた先生の教えは、今も信明館道場の伝統として残って

います。

道場の中学生以上の剣士は有段者になっています。中には警察官になられた方もいます。立派な社会人となり各方面で活躍中です。

道場は平成10年に建て替えました。前道場の経験を生かし防音、耐震、床は武道場仕様にしました。夏期に対応して熱中症の予防に換気口とクーラー設備を新設しました。

練習日・時間

- ①、水曜日午後5時30分(小・中学生)
- ②、木曜日午後5時30分(小・中学生)
- ③、土曜日午後3時(小学生)
- ④、土曜日午後4時30分(小・中・高校生)
- ⑤、土曜日午後7時30分(高校・一般者)

小学生から入門受け付けています。幼稚園児もしつかりしたお子様は入門を受け付けています。

これからも子供達に楽しく剣道を学んで頂き、将来日本の平和に貢献をして頂きたいと思っています。

最後に、藤沢市剣道連盟の発展に、私どもも微力ながら精いっぱい協力させていただきます。

平成27年度 藤沢市剣道連盟・年間行事日程

平成27年 1月28日

月	日付	曜日	開始時間	大会・稽古会・講習会	会 場
4	4	土	14時から	稲門剣友会親睦稽古会・市高段者研究会	秩父宮(全)
	5	日	9時から	1級審査会	川崎道場
	12	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
5	6	水・祝	13時から	市中学校受審者講習会	秩父宮(全)
	10	日	13時から	小学生強化練習会・市剣連合同稽古会	秩父宮(全)
	17	日	13時から	指導者研修会・高段者研究会	秋葉台3F
	31	日	9時から	Bブロック2級以下審査会	秋葉台2F(全)
6	7	日	9時から	Aブロック2級以下審査会	秩父宮(全)
	14	日	14時から	市剣連合同稽古会	秩父宮(全)
	21	日	11時から	小学生交流練成会	秩父宮(全)
	28	日	10時から	高段者研究会	川崎道場
7	5	日	13時から	小学生強化練習会・市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	26	日	14時から	市剣連高段者研究会	川崎道場
8	2	日	13時から	市剣連審判講習会・市剣連合同稽古会	秋葉台3F
	9	日	9時から	藤沢市市民総体剣道競技の部	秋葉台第1
	23	日	14時から	市剣連高段者研究会	秩父宮(全)
9	5	土	13時から	県高齢者剣友会稽古会・市剣連高段者研究会	秋葉台3F
	6	日	9時から	1級審査会	秩父宮(全)
	20	日	13時から	小学生強化練習会・市剣連合同稽古会	秋葉台3F
10	4	日	13時から	小学生強化練習会・市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)

月	日付	曜日	開始時間	大会・稽古会・講習会	会 場
10	18	日	14時から	市剣連高段者研究会	川崎道場
	25	日	13時から	三段以下受審者講習会	秩父宮(全)
11	1	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	8	日	13時から	市剣連審判講習会・市剣連高段者研究会	川崎道場
	15	日	13時から	小学生強化練習会	秩父宮(全)
	29	日	9時から	第22回藤沢市剣道錬成大会	秋葉台第1
12	6	日	8時半から	2級以下審査会(中学生)予定	六会中学校
	6	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	13	日	11時から	小学生交流練成会	秩父宮(全)
	20	日	13時から	市剣連指導者研修会・市剣連高段者研究会	秋葉台3F
28年 1	3	日	10時から	新年稽古始	川崎道場
	10	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	24	日	14時から	市剣連高段者研究会	秩父宮(全)
2	7	日	13時から	小学生強化練習会・市剣連合同稽古会	秩父宮(全)
	28	日	14時から	市剣連高段者研究会	川崎道場
3	13	日	13時から	市剣連剣道形講習会・市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	20	日	14時から	市剣連高段者研究会	秩父宮(全)

※秋葉台＝秋葉台文化体育館 秩父宮＝秩父宮記念体育館
(全)＝柔剣道場使用 (半)＝剣道場使用
(注)市小学生強化練習会：13:00～15:00 市剣連合同稽古会：15:00～17:00
10/25の市中学生形講習会は、中学生＆一般三段以下を対象とする。

6/21、12/13 11時から小学生交流練成会(秩父宮記念体育館)は片瀬剣友会が主催。



大会、国民体育大会等に選手として活躍されました。
また、昭和54年より永年に亘り市剣連役員(現・相談役)を務め

編 集 後 記

祝、米寿 川崎 渉先生

平成26年6月29日、藤沢グランドホテルで範士八段、川崎渉先生の米寿を祝う会が多くの参加者が集い、開催されました。

先生は、大正15年鹿児島県にお生まれになり、全国警察官剣道大会をはじめ、全日本剣道選手権

られるとともに、剣修館川崎道場の館長として剣道を通じ青少年の健全育成に当たってこられました。平成5年、神奈川県教育委員会から剣道発展に寄与された功績により表彰されました。

先生のさらなるご活躍とご健康をお祈り申し上げますとともに、これからも変わらぬご指導をよろしくお願いします。

なお、先生の大会等におけるお話は会報2号に掲載されており、会報7号を発行するに当たり、会員各位よりご執筆をいただきます。ご協力に感謝申し上げます。

(小林)

藤沢市剣道連盟会報 第7号

平成27年 3月15日 発行

発 行 藤沢市剣道連盟
神奈川県藤沢市高倉2300事務局
電話 0466-44-2001

印 刷 所 アミーデザイン

編集委員 永島修治 由井一夫 高科建治
小林一雄 竹内迪子 阿部剣朗
後藤真二 高科建太郎 石川信和

藤沢市体育協会 藤沢市剣道連盟

http://www.fujisawa-taikyo.org/content/view/51/48



剣道形 打太刀（白水）、仕太刀（宮崎）



大会会場準備



木刀による基本稽古（心剣会）



審判員申し合わせ



居合演武終了後



錬成大会準優勝（互心会）



合同稽古会



初稽古（川崎道場）



稲門親睦稽古会



小学生強化練習参加者



親睦稽古会早大道場



審判講習会



ストレッチ体操講習会



県伝達講習会



新年会



湘南藤沢マラソン連盟派遣